

## 渡辺半蔵家定紋入弓張提灯



米野木村の庄屋であった武田治兵衛が、米野木村の給人であった渡辺半蔵家より拝領した弓張提灯です。箱の蓋裏書には慶応元年の正月から七月、菊水の瀧まで屋敷の警固にあたる際に拝領したとあります。武田治兵衛は渡辺家より苗字帯刀が許された人物です。また庄屋である一方で、安政四(一八五七)年から渡辺家より米 7 俵を頂戴し、渡辺家の家臣に近い形で働いていたようです。本郷の福岡理兵衛、岩崎の西尾太兵衛も同様に庄屋と渡辺家の家臣を兼ねていたことが渡辺家の分限帳に記されています。

給人・・・幕府・大名から知行地あるいはその格式を与えられた旗本・家臣  
分限帳・・・江戸時代、武士の身分・格式、役職・知行・俸禄・席次などを詳記した帳簿